

看護研究を学ぶ・実践する人のためのテキスト

『看護における研究 第2版』刊行！

看護研究は、臨床・教育・管理の場において、課題や問題に対応できる新たな知見や技術を見いだすために行われる系統的な探究です。特に、臨床領域で行われる研究は、看護の質の向上に直接的に寄与するものです。意義のある看護研究を効率よく行うためには、研究課題の絞り込みから概念枠組みの構築、研究デザインに沿ったデータの収集・分析方法などについて正しい知識を身につける必要があります。本書初版は、看護職をめざす学生、大学院生、臨床現場で働くナース、研究の指導者など幅広い層の読者にご愛読いただきました。さらなる内容の充実をはかった第2版の刊行にあたり、その特色と活用のヒントをご紹介します。

■質的研究・量的研究の基本となる知識が身につく

研究は、組織立った科学的な方法を用いて、系統的に、順序を踏んで行われるものです。

本書では、研究の過程を大きく6段階（「研究課題の選択」「研究課題と概念枠組みの明確化」「研究方法の選定」「研究データの収集」「研究データの分析」「結果とその解釈および研究の発表」）に区分し、各段階について丁寧に解説していきます。

研究課題（研究の問い）の答えを導き出すためには、最も適切な研究デザイン（アプローチ）を選択することが重要ですが、本書では、研究デザインの分類（①質的記述研究デザイン、②量的記述研究デザイン、③仮説検証型研究デザイン、④因果関係検証型研究デザイン）を示し、それぞれの基礎的な研究方法について詳細に紹介します。

■実際の研究例と解説から具体的な進め方が学べる

研究の進め方や各段階の注意点は、実際に看護職が行った研究例を示しながら解説されるため、具体的かつわかりやすいものになっています。また、全ページがカラー化され、ポイントがわかりやすく、図表も見やすくなりました。

■研究における倫理の考え方や対応がよくわかる

近年、病院や教育機関において、研究倫理審査の

体制が整ってきました。研究を行う上で、倫理原則や研究対象者の権利について知っておくこと、倫理的配慮を行うことは必須です。倫理の考え方と対応などについての解説が充実しています。

■文献検索の意義とデータベースの活用法が学べる

研究の過程における文献検索の意義を確認しておく、計画的・効率的な情報収集が行えます。自分の研究課題にとって重要な文献を見落とさないために、オンラインデータベースを上手に活用する方法などが学べます。

■研究を積み重ねていく手引きとして活用できる

テキストとして学んだ後、実際に研究を積み重ねていくときの手引きとなることもめざした内容構成です。ご自身が研究への理解を深めていく段階に応じて各章をご活用ください。

好評発売中



『看護における研究 第2版』

南裕子・野嶋佐由美 編集

● B5判 304ページ

● 定価（本体2,900円＋税）

ISBN 978-4-8180-2066-5

日本看護協会出版会

(TEL: 0436-23-3271)

●看護における研究の役割 p.2-3より

A 看護における研究の役割

19世紀半ばに、看護が社会に貢献し得る専門職業であると世の中の人々に身をもって示したフローレンス・ナイチンゲール(Nightingale, F)¹⁾、(図1-1)²⁾はまた、看護が人々の健康回復に役立つものであることを研究を通して実証した最初の人でもあった。病む人々の環境を整えたり、身の回りの世話をしたりすることが健康を回復するのにいかに役立つかを実際に観察し、記録することで、世の中の人々にわがせめたのである(図1-2)³⁾。(写真1-1)

ナイチンゲールの提唱した看護の精神や教育の方法に関しては、その後、世界中に広がったが、実践を改善するために研究を積み重ねることが必要であるという彼女の考え方はなかなか浸透しなかった。つまり、職業としての看護は根づき継承されたのになら、科学としての看護学の発展は、研究が本格的に行われるようになった20世紀の半ばまで待たねばならなかった。その他の近代科学の分野のほとんどが19世紀半ばに芽吹き、その後発展し続けたことを思えば、せっかくナイチンゲールが芽かせた科学としての看護学が他の科学のように発展し得なかったのは残念なことである。

しかし、看護が人々の健康の維持・増進、疾病からの回復過程、および安らかな死への準備にどのように役立っているかを系統的に探究することは、看護ケアの改善にとって欠かせないことである。看護が専門職として発展し始めた近年では、看護の研究も盛んに行われるようになった。専門誌の数も増え、研究の報告が多数掲載されるようになり、学会も国内だけではなく国際的にも行われるようになった。研究の成果が実践の改善に貢献しているという報告も増え、実際に研究と実践をどのように結びつけていくかという論文も出るようになってきた。研究は、一部の研究者だけが行うものではない。

ディアー(Diers, D.)⁴⁾は「すべての看護婦は研究をすることができし。また、研究をしなければならぬ」と主張しているが、現場で働く者、教育者、研究者は協力して、ケアの場に関与しているのか、それらはなぜなのか、看護ケアの知識や技術は実際に患者や家族の状況を改善しているのかなどの疑問に答える努力を積み重ねていく必要がある。また、地域住民の生活の質の向上につけて健康



図1-1 25歳頃のナイチンゲール
(Cook, E.: The life of Florence Nightingale, I, II, Macmillan, 1914 (First edition 1913). p.38 2, 9)

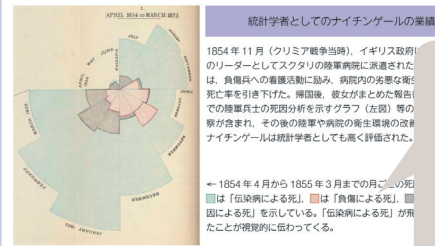


図1-2 ナイチンゲールが作成した独創的な統計グラフ(戦地の陸軍兵士の死因分析)
(Nightingale, F.: Notes on matters affecting the health, efficiency and hospital administration of the British Army, founded chiefly the late war. Presented by request to the Secretary of State for War, London: [s. n.], 1858.)

★フローレンス・ナイチンゲールは、看護が人々の健康回復に役立つものであることを、研究を通して実証した最初の人でした。統計学者としてのナイチンゲールの業績を紹介しています。

上のどのような要因が影響しているのか、どのような看護体制がケアの質の改善に役立つのか、教育方法の工夫が看護学生の理解をどのように深められるのかといった研究も重要な課題であり、看護のさまざまな分野の人々が協力・連携して研究が必要であるだろう。そのために、看護に携わる者には看護研究について学習し、実際に研究に取り組むことが求められるのである。

この章は、次のような側面から看護研究について考えるものである。

- ① 研究とは何か
- ② 看護の発展と看護研究はどのようなかわりがあるか
- ③ 看護研究を行う際には倫理的にどのような配慮が必要か



写真1-1 1860年(40歳)頃のナイチンゲール

B 研究とは

フランスの数学者、物理学者、宗教思想家(1623-1662)。

「人間は考える葦である」というパスカル(Pascal, B.)の言葉はあまりにも有名な言葉であるが、それでは、人はなぜ考えるのであろうか。人が物事について考えるにはまず考えるものとなる「知る」ということが必要になる。ところで、自由に物事を考えることが許されている人は、自分を惹き取り世界のことをできるだけ知りたい

●文献検索を行う前に：キーワード検索のコツ p.50-51より

参考ページ・文献検索を行う前に：キーワード検索のコツ

a 基本的検索式(キーワードの組み合わせ方)を確認しよう

Web情報の検索や文献情報の検索では、検索キーワードと検索式(検索演算子)の使い方で結果(ヒット数)が大きく変わる。基本的な検索用語と検索式の使用方法について確認しよう。

① AND検索:キーワードAとキーワードBの両方を含むものを検索する

A AND B
レポート 書き方

Googleで検索する場合はキーワードA(レポート)とキーワードB(書き方)の間に「AND」(スペース)を挟むことでAND検索ができる。

レポート 書き方

医中誌Webで検索する場合も同様。

レポート 書き方

② OR検索:キーワードAとキーワードBのいずれかを含むものを検索する

A OR B
輸液 点滴

Googleで検索する場合はキーワードA(輸液)とキーワードB(点滴)の間に「OR」(前後にスペース)を挟むことでOR検索ができる。

輸液 OR 点滴

医中誌Webで検索する場合も同様。

輸液 OR 点滴

③ NOT検索(マイナス検索):キーワードAのうちキーワードBを含まないものを検索する

A NOT B
アレルギー 花粉症

Googleで検索する場合はキーワードA(アレルギー)とキーワードB(花粉症)の間に「NOT」(半角のスペースとマイナス)を挟むことでNOT検索ができる。

アレルギー -花粉症

医中誌Webで検索する場合は「NOT」(前後にスペース)を挟む。

アレルギー NOT 花粉症

④ フレーズ検索(完全一致検索):2語以上のフレーズと完全に一致するものを検索する

Googleで検索する場合はフレーズ(health literacy)を「」(ダブルクォーテーション)で囲む。

"health literacy"

医中誌Webで検索する場合も同様。

"health literacy"

⑤ 前方一致検索(あいまい検索):語句の前方部分が一致するものを検索する

Googleで検索する場合は語句(遺伝子……)のあいまいな部分(半角のアスタリスク)に置き換えて入力する。「」の位置をすることで前方一致検索や中間一致検索もできる。

遺伝子*

医中誌Webでは、完全一致の指定がなければ部分一致するものが検索される。

遺伝子

* ここではGoogleと医中誌Webの場合を紹介したが、検索式の入力方法はデータベースごとに違っているので使用前に確認しよう。

b データベースで文献検索の練習をしよう

基本的な検索式について理解したら、実際のデータベースで文献検索の練習を行うとよい。「医中誌Web」にはデモ版(無料)¹⁾があり、パソコンやスマートフォンで試すことができる(ただしデモ版で検索できるデータは、2014年前半の6ヵ月分の約27万件のみ)。

「医中誌Web」のHELPページ²⁾には、「検索開始～終了までの流れ」「主な画面の説明」「検索結果(医中誌データの説明)」「入力データ」等、わかりやすい説明がたくさんあり参考になる。

*1 <http://demo.jamas.or.jp>

*2 http://www.jamas.or.jp/web_help5

★文献情報の検索では、検索キーワードと検索式(検索演算子)の使い方で結果(ヒット数)が大きく変わります。基本的な検索種類と検索式の使用方法について説明しています。